



日本の小惑星探査機はやぶさ2は、6年間、52億キロメートルの宇宙飛行のすえ、人類未踏の小惑星「リュウグウ」の物質を地球に持ち帰ることに成功しました。その困難に満ちたミッションの道りを振り返ります。また、帰還成功後に開始し、いよいよ今年新たな小惑星「トリフネ」に迫る「はやぶさ2拡張ミッション」についても紹介します。

天文講演会 いよいよ小惑星トリフネへ はやぶさ2の宇宙大航海

講師 JAXA宇宙科学研究所 副所長・教授・
元はやぶさ2プロジェクトマネージャ **津田 雄一 氏**

専門は太陽系探査、宇宙航行力学。2003年、JAXA宇宙科学研究所に着任。
2008-2009年、ミシガン大学およびコロラド大学ボルダー校客員研究員。
いまや世界中で作られている10cmサイズの超小型衛星「キューブサット」を世界で初めて実現、はやぶさなどを打ち上げた「M-Vロケット」の開発、小惑星探査機「はやぶさ」の運用などに従事。またソーラーセイル宇宙船「イカロス」のサブチームリーダーとして、世界初のソーラーセイル技術の実現へと導いた。小惑星探査機「はやぶさ2」ミッションではプロジェクトマネージャとして小惑星のサンプル採取と地球帰還を成功させた。近著に「はやぶさ2 最強ミッションの真実」(NHK出版)、「はやぶさ2の宇宙大航海記」(宝島社)、「はやぶさ2のプロジェクトマネージャはなぜ「無駄」を大切にされたのか?」(朝日新聞出版)



日時 2026年 **6月13日** (土)
14:00~17:00 (13:15開場)

場所 **ときわ湖水ホール
大展示ホール**
宇部市大字沖宇部254番地

■定員:350人(先着順) ■参加料:無料
■対象:どなたでも

タイムテーブル

13:15~14:00 受付
14:00~15:15 **第一部 講演会(75分)**
15:15~15:30 休憩
15:30~16:30 **第二部(60分)**
パネルディスカッション
「はやぶさ2のこと
何でも聞こう、何でも話そう」
16:30~17:00 **総合質疑応答(30分)**

申込方法 6月10日(水)までにメール又はお電話で参加者全員の
①氏名 ②年齢 ③住所 ④電話番号 ⑤講師への質問(任意)をお知らせください。

申込期間 5月7日(木)~6月10日(水)

申込メールは、
右記QRコードから
作成できます。



問い合わせ・申込み ▶ 宇部天文同好会 TEL.090-7138-4380 (久幸(ひさゆき)) [メール] ubeten50@gmail.com

主催:宇部天文同好会、宇部市宇宙教育推進協議会 共催:宇部市教育委員会

令和8年4月作成